

**～あなたの生活に役立つ情報が満載の新潟鍼療センターからのたよりです～**



挿絵 が含まれている画像

自動的に生成された説明

発行/ 新潟鍼療センター 〒950-0087　新潟市中央区東大通2-10-13　　☎025-244-1189

ホームページ　http://hari-niigata.com　　　　　Ｅメール　higashi-oodoori@hari-niigata.com

こんにちは院長の山田です。春の兆しが見えてきた今日この頃、皆さんいかがお過ごしでしょうか？３月の一大イベントといえば**ひな祭り**ですね。１年に１度のことですから、雛人形や雛道具の並べ方に逡巡する方も多いのではないでしょうか。実は**雛人形の並べ方は地域によって違う**ことがあるんだそうですよ。**関東では向かって左が男雛で右が女雛**、主に**京都など関西の一部地域は右が男雛で左が女雛**です。昔から日本には左の方が位が高いという風習がありますね。平安時代、**帝は御妃様の左（向かって右）に座った**ことから、京都などでは男雛が右側に来ます。一方**現代の皇室**では、**天皇陛下は皇后陛下の右（向かって左）にお座りになる**ため、関東ではこちらに準じた並べ方をしているんだそうです。いろいろな決まりや違いがあるものですね。ところで先日**左右に関する面白い実験**を見かけたのでご紹介します。「真ん中に人が立っていて、その人の目の前にふたつの四角い枠が並んでいます。この枠にパンダとシマウマ、どちらかを入れてみましょう。ただし、真ん中の人はパンダが好きでシマウマが嫌いです」という実験をしたところ、**右利きの方は右の枠にパンダを配置**し、**左利きの方は左の枠にパンダを配置**する傾向があったんだそうです。多くの方が、**利き手側に「良い印象」を持っている**ということのようです。これは**利き手側の方が行動や情報の処理をしやすい**ためだといわれています。ただし左右については「人の視線は左から右に動き、最後に見たものが印象に残りやすい」といった、利き手とは関係のない研究もあるそうで奥が深いですね。さらに**「右と左、どちらでも選べる場合は左を選ぶ方が多い」**という**“左側パラダイスの法則”**という法則もあるそうですよ。道に迷った時、レストランの席がたくさん空いていた時、皆さんは右と左のどちらを選んでいるでしょうか？これは、一見先の法則と反対に感じられますが**「左から見ていく」という意**

**味で「まず左を選ぶ」方が多い**からと考えられるそうです。科学的な根拠はないということですが、

日々の自分や周りの人の動き方を、少しだけ意識して見てみるのも面白いかもしれませんね。春に

向かう季節、好奇心を大切に過ごしていきましょう！　新潟鍼療センター院長　山田敏夫

新潟鍼療通信

